

キャラクター名	プレイヤー名
マルティナ = リュッターマン	

種族	ドレイク	種族特徴	暗視/限定竜化/光プレス/弱点(魔法+2)		
生まれ	呪術師	性別	女	年齢	98歳
冒険者Lv	15	経歴	記憶がない		
経験点	0		人族が蛮族に勝利している 許せない蛮族がいる		

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	
技	10	器用度	3	23	9	45 + 30	12
		敏捷度	1	17	16	44 + 30	12
体	12	筋力	7	32	13	64 + 30	15
		生命力	8	44	18	82 + 30	18
心	8	知力	15	77	41	141 + 35	29
		精神力	10	58	24	100 + 30	21

技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.
コンジャラー	15						
レンジャー	6						
セージ	15						
エンハンサー	6						
バード	2						
ミスティック	15						

戦闘特技			
ルーンマスター	IB34p		p
治癒適性	2122p		p
鋭い目	2120p		p
弱点看破	2121p		p
マナセーブ	2123p		p
マナ耐性	3144p		p
賢人の知恵	3142p		p
魔法拡大/時間	IB39p		p
代償軽減	IB30p		p
自己占瞳	IB29p		p
占瞳操作	IB30p		p
マリオネット	2-230p		p
キャパシティ	IB29p		p
魔法拡大/数	IB39p		p
MP軽減/コンジャラー	IB33p		p
武器習熟A/スタッフ	IB31p		p
武器習熟S/スタッフ	IB31p		p
ワードブレイク	IB33p		p

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要			
	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	マナコート+	1		8
盾				6
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	合計値			0 25

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
支配の杖 接触でゴーレムの命令を何度でも変える	2H	4	2	2d+ 2	12	4	11										
ハーモニカ	2H	1		2d+ 0		0											
ブラックロッド 消費MP-1	2H	1	1	2d+ 1	12	3	20										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 <sub>m</sub>	76 <sub>m</sub>	228 <sub>m</sub>	2d+ 0	25	179
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP	
2d+ 52	2d+ 4	2d+ 38	2d+ 45	130	

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
操霊魔法	15	50			

装備品	説明
頭 幻のウィッグ	髪色を好きな色に変更する
耳	
顔 イレブンレンズ	セージ判定+2
首 祈りのアミュレット	HP回復魔法の回復量+1
背中 野伏のイレブメント2	フード付きで角と翼隠れます 生命・精神抵抗、生死+2
右手 イレブン式観望の腕輪改三	
腰 ブラックベルト	
足	
その他キャッチ・オブ・フォーチュン	占瞳判定+2 自動回復 セッション中1度だけ使用可

装備品	説明
ウェポンホルダー	武器を補助動作で出し入れ
左手 正しき信念のリング	精神抵抗力判定に+2

その他メモ	自動失敗 チェック
兄弟達から落ちこぼれ扱いされ、範囲魔法を食らって崖下の森へと落ちたショックで記憶喪失になってしまった。幸いにも操霊魔法と占瞳を高い技術で習得していた為、生活には困らなかったが、やはり寂しさ故ついに運命の人を占う。それを期に人族の領域まで足を踏み出し、無事にジューグルトを見つけ、彼に戸惑われつつも仲良く過ごしている。1人の時もずっと一緒に過ごしていたゴーレムはまた違った相棒。普段の態度からは想像もできないが、あまり他人を信用せず、ゴーレムを優先して直しかかる。補助も同じくゴーレム優先。他の団員はついでに施す程度。代々名前をつけて可愛がっており、ニクオくん、イワオくん、テツオくん、そして今代のシルバくんがいる。壊されないように強化素材選びもそれが最優先。竜化を醜いとして嫌っており、余程のことがない限り絶対にしない	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤
最近では金も余っていたところにプローディ王国の農林業開拓計画が舞い込んで、占瞳が随分と役に立つので早くオーナーとなること、そして仕事に協力することに承諾した。パートナーのジューグルトとは言えば彼女だけだと騙されないか非常に心配だった為、共に事業に参加している。有り体に言えば、マルティナは占うくらいでほとんどの職務は彼が行っている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩
普段は天然が入っているが、自頭は良いので、依頼の達成が早い。それ故イレブンの戦闘頻度も相まって求道者へと自らをいつの間にか高める結果となった。これによりシルバゴーレムを運用できるようになったのだが、ひとつひとつの強化素材の値段がバカにならない為、ここに	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉑
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉒
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉓
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉔
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕

